

## 第2回木曾・飛騨川流域総合治水対策検討委員会 議事概要

木曾・飛騨川流域総合治水対策検討委員会事務局

日 時：平成25年12月29日（金）14：45～17：15

場 所：美濃加茂市文化会館3F 展示室1

### 1. 議事

- 「木曾・飛騨川流域における総合的な治水対策プラン」の改定について
  - (1) 個別河川の補足説明について
  - (2) 河川構造物の長寿命化・耐震化について
  - (3) 前回委員会での意見について
- 今後の進め方について
- その他

### 2. 議事内容

- 木曾・飛騨川流域における総合的な治水対策プランの改定について

議事(1)、(2)および(3)の項目の内容について事務局から説明があり、質疑がなされた。各項目について交わされた質疑応答の主な内容は以下のとおりである。

- (1) 個別河川の補足説明について
  - ・ 流下能力図の見方について、凡例の補足説明をお願いしたい。
    - 青着色部が、現況流下能力、黒は改修済み、緑が改修予定の箇所を示し、改修済み区間に関しては、青+黒が現況流下能力ということで、赤で示す部分が今回のプランに位置付ける整備箇所を示している。
  - ・ 資料3の緊急点検の箇所について、中津川市では32箇所24.1kmとなっていて、写真4枚が示されているが、この写真の4つの河川で、32箇所24.1kmという理解でよいか。
    - 4枚の写真は代表箇所であり、他の河川、見難いですが、図中の緑の細かい着色で示す箇所が該当箇所です。
  - ・ 該当箇所について一覧をいただけないか。
    - そのように取り計らう。
- (2) 河川構造物の長寿命化・耐震化について
  - ・ この地域の長寿命化計画対象箇所は3箇所か。
    - この地区は4箇所、すなわち、大ヶ洞ダム、妙見町 あ陸閘、中野方ダム、岩村ダムの4つを対象としている。
- (3) 前回委員会での意見について
  - ・ 加茂川の取り組みについて地域住民による竹林、竹木伐開というのは、堤外民地があるということもあってということか。

→ そのとおりで、民地の竹藪や、竹が垂れ込むなどして、流水を阻害している  
というようなところで実施されている。

#### ○今後の進め方について

- ・ 事務局より今後の進め方の説明があり、特に質疑なく了承された。

#### ○その他

- ・ 漁業協同組合を代表して、として以下の発言があった。

『かつては組合からの要望に対し、住民を守るためであって組合のための工事でないというようなことも言われたが、最近では、瀬や淵のある魚の住みやすい河川にするような工事をすすめるということで、ありがたい。先日の新聞で、中山七里の樹木を伐採し景観を良くするというとりくみがあった。中山七里だけでなく岐阜県全河川の景観がよくなるようなことをまた新たにお願いしたい。』

- ・ 緊急点検要対策箇所についての対策は中・長期で実施するということか。  
→ そのとおり、中、長期で対策を行うということで考えている。